葉月 愛南文芸

篠南川柳会

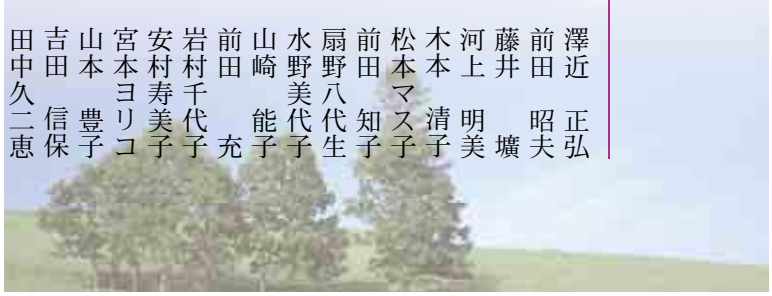
お宝は家内安全それで良し　田中すみ子
梅干しのシワより深い顔のシワ　木本　清子
ああ言えばこう言い返す嫁姑　田村　京子
幼な子の涙の後のいい笑顔　前田由紀子
風向きが変わって受けるとばっちり　田中　保美
古里の宝は今も人の情　芝田　憲蔵
子は宝夫婦の危機もつなぎ止め　谷口千代子
志願せず努力もせずになれたハゲ　松本もとお
経験は何より宝身をたすけ　松本　安子
亡き父母と一緒の写真宝物　射場ちずる
ドラマ見て涙出てくる良い場面　篠原みち子

菊川俳句会

老鶯の季節忘れし声澄める　宮下　熊夫
梅雨晴れやサロン仲間のミュージカル　井関　禎美
お隣りと程良いつき合い茄子の花　小野山シマ子
沖永良部愛加那愛し仏桑花　村尾加都子
餌ねだる金魚の乱舞宙返り　長田　高明
夏野菜わらを敷くなりすずめ寄る　長田千恵美
さりげなく花火見るふり手をつなぎ　中川　一喜
紫陽花は内緒話を盗み聞き　長尾　則夫
サイダーの残りわずかと汗キラリ　橋本ひかる
汗ちらり空と林と南風　小野山果林
どしゃぶりの七夕願いも言い忘れ　鱒　瑞貴
荒屋の若蔦若蔦これでもかと　宮本　翔吾

さわらび短歌会

稲妻に合わせて素早く竹刀振る剣の極意に近づきたくて　澤近　正弘
丸大の祖父の屋号の菊間瓦百年過ぎて雨の漏りたり　前田　昭夫
砂浜に延々と続く足の跡波打ち寄せて消えゆくはさびし　藤井　壙
夫と吾の阿吽の呼吸で張りし網戸梅雨の晴れ間の風通りゆく　河上　明美
「だれだッピー」目隠しする子の名をわざと当てずに背なより離さずにいる　木本　清子
風邪癒えて三日ぶりに出でし庭夕顔の蔓の誘引をする　松本マス子
サッカーの試合に負けたるブラジルの地に日本の若きらごみ集めおる　前田　知子
矮鶏十羽もらいし夫は蘭の小屋鳥にゆずりて卵を待ちぬ　扇野八代生
息づかい懸命の犬にこの鎖重かったろう物言えぬ身に　水野美代子
初心者でも格好じゃ負けぬとグラウンドゴルフ若作りして大会に臨む　山崎　能子
待つ人の在るごと急ぎ帰り来ぬ落ち梅庭に匂う夕ぐれ　前田　充
在りし日の子が植えくれし胡桃の木思い出ともに育ちてゆきぬ　岩村千代子
鶏たちは暗き鶏舎の網目よりさみしく梅雨の空を見ており　安村寿美子
お孫さんを「またま」と名付けし句の師匠その字命名は「真珠」と記す　宮本ヨリコ
一年生の千万梨はとても俳句好きばあちゃん聞いてと今日も披露す　山本　豊子
「梅雨休み試歩する廊下の明るくて」妻は発句し明るむひと時　吉田　信保
弟の逝きにし後のわが里に帰ることなきを待つは悲しき　田中久二恵



はじめまして。赤ちゃん。

6月受付分（敬称略）

地区名	子の名	保護者

ご冥福をお祈りします。

6月受付分（敬称略）

地区名	亡くなった方	享年

※上記情報は、広報誌掲載に対して、
ご家族等に同意をいただいております。